

読書のすゝめ HP版

その4 H28 4/21

新任の先生紹介④



ネモフィラの花

『パラドックス13』

東野圭吾

（講談社文庫）

私は、「ガリレオ」シリーズでお馴染みの東野圭吾さんのファンです。映画化やTVドラマ化されている本もたくさんありますが、その中から1冊を紹介します。推理小説ではなくSFですが、さすが東野圭吾さんで設定も論理的で面白く読み始めると一気に読めます。少しずつ分かってくる現状と残された人間同士の葛藤。ぜひ読んで本の面白さを体験して欲しいと思います。



13時13分13秒、街から人が消えた。無人の東京に残されたのは境遇も年齢も異なる13人の男女。なぜ彼ら選ばれたのか。大雨と地震に襲われる瓦礫の山と化した街。そして生き抜こうとする人達の共通項が見えてくる。世界が変われば善悪も変わる。殺人すらも善となる。極限状態で見えてくる人間の真理とは。

キミ本大賞

（君に贈る本大賞）

泣ける1位『アルジャーノンに花束を』（ダニエル・キイス）

中学生、高校生が「生涯の1冊」と出会う手助けをしようとして、読売中高生新聞が2014年に創設した「君に贈る本（キミ本）大賞」。全国の中学・高校の教員が、中高生に薦めたい1冊を書いて応募する文学賞で、第2回のテーマは、「10代に薦めたい『泣ける本』」です。

自分が感銘を受けた本を読んで、何かを感じてほしい！。この思い、みんなに届け！

1位	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	三浦綾子
2位	塩狩峠		東野圭吾
3位	手紙		梨木香歩
4位	西の魔女が死んだ		野坂昭如
5位	火垂の墓		夏川草介
6位	神様のカルテ		住野よる
7位	君の隣臓をたべたい		重松清
8位	その日のまえに		有川浩
9位	旅猫レポート		オグ・マンティノ
10位	十二番目の天使	オグ・マンティノ	浅田次郎
11位	鉄道員(ぽっぽや)		重松清
12位	とんび		重松清
13位	きみの友だち		重松清
14位	東京タワー	リリー・フランキー	佐藤多佳子
15位	一瞬の風になれ		池井戸潤
16位	下町ロケット		三浦しをん
17位	風が強く吹いている		

『ムーンナイト・ダイバー』 天童荒太（文藝春秋）



ダイビングのインストラクターをつとめる舟作は、亡父の親友である文平とともに立入禁止の海域で引き揚げを行っていた。光源は月光だけ――ふたりが『光のエリア』と呼ぶ、建屋周辺地域を抜けた先の海底には「あの日」がまだそのまま残されていた。依頼者グループの会が決めたルールにそむき、直接舟作とコンタクトをとった眞部透子は、行方不明者である夫のしていた指輪を探さないとほしいと告げるのだが… 東日本大震災から5年。「福島」「原発」という言葉は一切避け、どこにでも起こりうる危機として描かれた。「みんな少しずつ大切な何かをあきらめているのだから」。鎮魂と生への祈りをこめた作品。

※14日夜以降に熊本県を中心とした大地震が発生しました。「自然」の前に人間の力のなんと無力なことか……。とにかく、一日も早く地震が終息し、被災地が復興できますように、心から祈るばかりです。何かできることはないか、考え、行動したいと思います。